

日本聖公会 神戸教区報

# 神のおとずれ

2014年  
5月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者  
司祭 芳我 秀一

印刷所  
文明堂印刷所

## 「共同宣教司牧」って、なにに？

司祭 マルコ 藤井 尚人



### 神戸伝道区を 3〜4人の司祭で！

3月8日に開催された神戸伝道区の終わりに「例えば、神戸伝道区の7つの教会を3〜4人の司祭が協力して司牧する、そのようなことを聖職の方々は本気で考えて欲しい」という発言がありました。共同宣教司牧（キョウドウセンキョウシボク）と読みます）・・・、ローマ・

カトリック教会ではお馴染みの教会用語です。この共同宣教司牧とは、聞き飽きた感のある「司祭不足・各教会の財政危機」という現実の問題を解消するための一時的な緊急避難措置ではなく、「宣教」という観点のもと、現体制の維持だけが目的になっただけでいるかのような現状から、イエスキリストの望んでおられる本来の教会に立ち戻ろうという取り組みなのです。あるいは、関係学校・施設・幼稚園・保育園を、求道者が集められている「聖堂共同体」と認識をし、共同宣教司牧のビジョンの中に位置づけるという取り組み。それは、単なる教会同士の交流と協力ということを目指すのではなく、共同宣教司牧を行う教会同士の共通の「宣教課題」を見出すことから始まる教会の

新しい一歩なのです。

### 神の力は 弱さの中こそ

2009年にギリシャは政権交代が実現、結果、前政権からの財政危機が判明し、ギリシャの「国家破産」が現実のものとなりつつあることから、EU各国は、その危機感を共有し、連携した対策に乗り出しました。「牧師の仕事（教文館）」という書物の中に「教会とは小さな国家である」というある牧会者の言葉を引きました。教会も国家と同じように、人事異動という政権交代を機会に、それまで隠れていた様々な問題が表面化するものもあるのかもしれない。現在、神戸聖ヨハネ教会は、教区に牧会援助資金を申請し、教会運営を行っています。実は、このピンチ（危機）こそ、EUならぬ、神戸教区が、その危機を共有し、それぞれの既得権を放棄することによって「共同宣教司牧」という教会の構造

改革への新しい扉を押し開ける絶好のチャンス（好機）である。私は考えています。もちろん、神戸聖ヨハネ教会も、阪神淡路大震災復興記念聖堂として、長年抱えて来た従来の教会のイメージを常に問い直しながら、キリストの十字架と復活の生命に与る「新生」を証するため、新しい歩みを始めなければなりません。

### 司祭同士の協力

「共同宣教司牧」のために先ず、何よりも必要なことは司祭間の協力であることは明白です。すでに共同司牧を始めているあるカトリックの神父さんが「仲

のためには、実は、信徒の役割も大きく変わるのです。従来の「何でもかんでも司祭さま」から、信徒一人一人がイエスキリストに呼ばれた弟子（信徒使徒職といえます）として、教会の「宣教」を担わねばならなくなります。以前、有馬で開催された教役者修養会に講師に来て下さった『妖怪の棲む教会』(夢窓庵)の著者、中川明神父(カトリック大阪大司教区)は、明確に「信徒が司祭の手伝いをするのではなく、司祭が信徒の手伝いをする」という発想の転換が必要」と断言しておられました。

### 交わりとしての教会

言うまでもなく「交わり」は教会の本質であるのですが、その目的は、聖職・信徒がそれぞれの賜物を活かしながら、宣教という教会の使命を果たすべくことです。教会の中心は、イエスキリストであり、一人の司祭ではありません。そして、教会とは信徒だけを対象にしてあるものでもない。まさに、教会とは、全ての人の救いのために召された人々の「神の民」であるという理解が、この「共同宣教司牧」の出発点なのです。

### 信徒の出番

次に、この「共同宣教司牧」

(神戸聖ヨハネ教会司牧師・神戸松蔭女子学院大学非常勤チャプレン)

# 聖職按手式

## 司祭1名、執事2名、誕生!!

3月21日(金)、神戸聖ミカエル大聖堂に、英国をはじめ、日本の各地から300人を超える人々が集まり、聖職按手式が行われました。

聖職按手式ではポール・トルハースト執事が司祭に、池澤隆

輝聖職候補生、杉野達也聖職候補生が執事に按手されました。

説教壇に立たれたアンドリュウ・デンジャーフィールド司祭

(MtS横浜チャプレン)は「聖職者は決して偉いわけでは

ありません。洗礼を受けたすべてのクリスチャンが聖霊を

受けて、キリストの祭司職を担うのです。そんな中、

執事はキリストの奉仕職の模範となり、司祭は聖霊を

受けたクリスチャンを牧会



し、教え導かなければなりません。・・・日々、神の御声を聴き、その御声を証してください」と語られました。また、按手式では、このたび新たに結成された神戸聖ミカエル大聖堂聖歌隊の歌声も美しく響いていました。

聖職按手式後、地下ホールで新司祭、新執事を囲んで祝会が行われました。祝会では、若者たちによる『恋するフォーチュン・クッキー、神戸教区バージョン』が披露され、新聖職たちのお面を被ったサプライズ・ダンサーも加わって、場内は大いに盛り上がりました。新司祭、新執事による新しい福音宣教の息吹が楽しみです。(中原 記)

### 東日本大震災追悼礼拝

去る3月15日午後4時より、英国聖公会サザーク大聖堂にて「だんごのこゝ東北〜Evensong and Memorial of the Great Eastern Japan Earthquake and Tsunami〜東日本大震災追悼礼拝 We won't forget you」が献げられました。日本から東北教区・加藤博道主教が説教者として来英され、祈りが献げられました。

礼拝は全て英語で献げられましたが、礼拝堂は現地に在任しておられる日本人及び、英国人で埋め尽くされました。英国聖公会の代表としてマイケル・イブグレイブ主教、各宣教団代表が参列、在英日本国大使及びサザーク市長も参列しました。

礼拝の初めにはジャスティン・ウェルビー、カンタベリー大主教の手紙が拝読されました。昨年、日本を訪れ、東北の地に足を運び、被災地の現状を目の当たりにして大きな衝撃を受けたこと、そして、世界中のアングリカン・コミュニオンに属する教会が一つになって祈ることの大切さを訴えられました。立教英国学院からは私と棟近校長、

### 英国通信 Ⅲ

#### 司祭 タピテ 林 和広

そして今年最上級生になる2名の生徒が参列し、私は代祷を献げ、棟近校長は被災地からの手紙を拝読、生徒たちは蠟燭の奉獻を担当しました。

追悼礼拝前日、ロンドン郊外の教会で加藤主教による現状報告会が開かれましたが、震災発生から三年が経過しても大震災は終わってはおらず、今もなお続いていること、様々な問題を抱えている被災地の現状をお話されました。追悼

礼拝説教では、日本のアーティスト桑田佳祐の震災復興ソング「Let's try again」の歌詞に何度も心を打たれ、涙したこと話をされ、困難な状況が続いているけれども、皆が一つになって立ち上がり、前進していくと述べられました。そして、そのためには多くの人々の祈りを必要としていることを訴えられました。

礼拝の最後には式文の中に挟まれていた、聖霊と平和のシンボルとしての折り鳩を礼拝堂にいたる全ての人々が祭壇周りに置き、被災地の人々を覚えて祈りを献げ、加藤主教が英語で、マイケル主教が日本語で祝祷を献げて終わりを迎えました。

# フィリピン・ワークキャンプ

2月28日(金)から3月10日(月)まで、神戸・九州・沖縄の三教区協働でフィリピン・ワークキャンプが行われ、神戸教区から青年3名、教役者2名が参加しました。

## ワークキャンプに参加して

マリヤ 杉野 有沙

今年行き先を二つのグループに分けてワークキャンプが行われました。一つは、ケソン市郊外にあるフェアビュー教会、もう一つはリサール州の山間部にある聖フィリップ・聖ジェームズ教会です。私はフェアビュー教会の方に行きました。

私が行ったフェアビュー教会がある村は都会にあるのですが、その中でも貧しいといわれる所でした。最初その教会を訪れた



救援物資の詰め替え作業

時に、フェアビュー教会は貧しい教会なのにそこよりもっと貧しい、マニラのゴミ捨て場にあるマカブという地域をずっと支援し続けているという話を聞きました。私はその話を聞いて、深く感銘を受けました。自分は今まで何をしていたのだろうと思ったし、私が今までの生活に自分のことしか考えずに生活していたのかということに気が付かされました。日ごろ日本で豊かな生活をしている私は、貧しい生活をしている人々に対して何もできていなくて、そんな自分に腹が立ちました。自分の生活を見つめなおさなくてはならないと強く思いました。

今年のワークは、礼拝堂の掃除、牧師館の再建でした。ワークを通して感じたことは、フェアビュー教会の信者さんの教会愛の強さです。信者さん皆さんの家が教会から近いからということもあると思いますが、いつも村の大人から子どもまで、さまざまな方が教会に来て、私たちと共にワークを行いました。

礼拝のない平日でも、教会に来て教会のために何かをする。その姿に、この教会は信者さんが主に教会を動かし、支えているのだということをもっと感じることができました。また、先ほども書きましたが、マニラのゴミ捨て場にあるマカブにも行きました。そこには、私が今まで見たこともない光景が広がっていました。トタンの壁と屋根でできた家の中、歩道、あらゆる所にたくさんゴミがあふれており、また一つの井戸の水を村のみんなですべて使っている。そんな生活をしているにもかかわらず、マカブの人たちはみんなキラキラした笑顔をしていて、私が逆に元気をもらいました。

フィリピンのワークキャンプに参加するのは今回が初めてだったので、不安が多い中での出発でしたが、その不安はすぐに消え、フィリピンで出会ったすべての人のホスピタリティーにふれながら一生忘れられないことのない十一日間を過ごすことができました。今回このキャンプに参加させて頂きありがとうございます。機会があれば次も参加したいと思えますし、是非他の方にも参加して頂きたいと思っています。

当日、私たちもお手伝いします！

## 聖オーガスチン教会 建築奮闘記④

マルコ 戸塚 啓之

今回は5月に開催されることになりました、瀬戸内伝道区合同バザーについて書かせていたきたいと思います。

昨年からの建築設計も進み、3月には施工業者が決定して、いよいよ建築事業が本格的になってまいりました。

このまま予定通りに進みますと7月より施工開始となり、これまで皆様に多大なご協力とご支援をいただいている中、この岡山オーガスチン教会における牧師館・教会ホール建築事業をより一層、教区の皆様や地域の皆様に広く知っていただくために、瀬戸内伝道区の皆さんのお力をお借りして、バザーを開催する運びとなりました。

これまで、幼稚園や牧師館として長きに渡りお世話になってきた建物に対し、様々な思い出があると思います。春のよき日に岡山に多くの人々が集い、思い出話に花を咲かせていただき、共に養育することができるとを楽しみにしております。どうぞおいでください。



当日、私たちもお手伝いします！

### 鳩だより

《敬称略》

#### 祝 洗 礼

12月25日(水)  
アンブロシウス  
與賀田 侑人  
高知聖パウロ教会

松山聖アンデレ教会より  
高知聖パウロ教会へ  
3月19日(水)  
ベタニアのマリア  
米子聖ニコラス教会より  
日本基督教団米子錦町教会へ  
岡本 和子

#### 神戸伝道区

#### ◎神戸聖ペテロ教会

3月16日(日)、吉谷かおるさん(岡山聖オーガスチン教会信徒)を講師に迎えて、大斎講話が行われました。

吉谷さんは、ご自身が訳された『マグダラのマリア、最初の使徒』をもとに、復活の最初の目撃者であり、第一の使徒、使徒への使徒とされたマグダラのマリアについて、丁寧にお話

くださいました。

復活日に向けて、また、これからの教会のあり方について、より視野を広げることができました。

#### 徳島伝道区

#### ◎徳島地区中高生会

3月22日(土)、徳島聖テモテ教会で徳島地区の中高生会が開かれました。徳島地区の教会から学生が集まり、月一回ほど様々な活動を行っています。今回は長田チャプレンを迎え、次のようなことについて話し合いをしました。

- ・ 中高生大会について
- ・ 「ありがとう」「ごめんなきい」など挨拶を大切にし、お互いに助け合う
- ・ これから徳島地区中高生会を

#### ◎富岡キリスト教会

1月下旬〜2月中旬にかけて、  
どうしていくか  
短い時間の中、とても有意義な交わりの時を持つことが出来ました。私たちが主体となり、中高生会を通していろいろな人が教会に関心を持ってくれるようになる嬉しく思います。  
(ルチア 松崎那奈)

礼拝堂改修と駐車場の確保のための工事を行いました。費用は一般会計より捻出しました。隣地(西側)には、阿南市が公園(富岡あ石公園)を整備するための工事が進められています。4月中には完成予定です。このため、近隣の景観が様変わりすることが予想されます。ご期待のほどを!

### 卒業しました!

セバスチャン 浪花 朋久

神様の導きによって、ウイリアムス神学館を卒業することができました。これまでの皆様からのお祈りとお支え、本当にありがとうございました。

3年間の神学館生活で、得たものの中に「対話」と「祈り」があります。主イエスは、論敵であるファリサイ派とも交わりをもち「対話」しています。つまり、自分と反対意見を持っている相手にも、神様の愛が注がれていることを伝えていくのです。この主イエスの姿のように、自分と意見は違っても、自分と意見は違っても、その人と何か一緒にできることはある、

4月から神戸聖ミカエル教会での勤務となります。これから神を畏れ、人を恐れず、人に仕える者として精進してまいります。どうぞ、よろしくお願致します。

### 6月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2014年6月5日(木) 午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式 主教 中村 豊  
説教 司祭 瀬山 公一

#### \* 6月の記念逝去教役者 \*

8日	司祭	チャールズ	ワレン
13日	司祭	ダニエル	植村 信久
13日	司祭	ヘンリー	ピー ト
13日	伝道師	マリア	鈴木 嵯峨
19日	伝道師	ヨハネ	伊木久次郎
19日	司祭	ダビデ	横田 豊
20日	司祭		牧岡 鉄弥
20日	司祭	トマス	角瀬 史和
20日	司祭	テトス	中道 淑夫
22日	司祭	施洗者	ヨハネ 佐々木 崇
23日	司祭	マタイ	覚前 信三
29日	主 教		横田 道信

#### 教 籍 異 動

1月1日(水)  
ソフィー 水野 真由子

#### ご 逝 去

3月20日(木)  
ルカ 大倉 俊彦  
高知聖パウロ教会

#### 祝 堅 信

2月23日(日)  
アガタ 齊 藤 イブノ  
広島復活教会

### 第2回神戸教区宣教協議会

日時: 2014年7月21日(月) 11:00~  
目的: 2016年に向けての中間報告会  
内容: 各教会のビジョン、アクション・プランと達成状況、問題点など。  
また、各伝道区の取り組み。  
発表者: 各教会の発表は、信徒の報告を期待します。  
各伝道区の取り組みは、伝道区長が行います。  
参加者: 教役者及び、各教会宣教協議会担当者または報告できる人(各教会参加人数の目安は、教区会代議員数+1名)  
傍聴歓迎!

